

学習指導センターだより

第7号〔令和6年10月25日（金）〕

〒949-6680南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館 2F 南魚沼市学習指導センター

☎025(773)6702 Fax025(773)6703 Mailmgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003>

南魚沼市学習指導センターで検索

RSTで測る基礎的読解力を視点にした指導例

RST（リーディングスキルテスト）で測る読解力の中に「具体例同定」があります。これは文章の意味（定義）に合う具体例を捉える力で、例えば次のような問題で測られます。

- ① 擬態語と擬音語を説明した文章を読み、擬態語が正しく用いられている例文をすべて選ぶ。
- ② 偶数と奇数を説明した文章を読み、偶数をすべて選ぶ。

南魚沼市立学校のRSTの結果を見ると、①のタイプよりも②のタイプに弱さが見られます。このことから、理数の分野でよく扱われる用語の意味を理解し、それに基づいて考えることが不十分な児童生徒が少なくないと思われま

算数・数学の領域に「変化と関係」「関数」がありますが、学年が進むにつれ、苦手になることがよく指摘されます。例えば、「比例」は、小学5・6年、中学1年で繰り返し学習して、その知識を深めるものですが、次のような問題は、基礎的な知識を問うものにもかかわらず、出来があまりよくないようです。

【問題例】 x と y の関係が比例なら○、比例でないなら×をつけて答えなさい。

- (1) 今、貯金箱に200円ある。毎月100円ずつ貯めて使わない。今から x か月後は貯金箱に y 円ある。
- (2) 時速 x kmで走る電車がある。この電車は、走って3時間経つと、 y km進む。

これは、算数・数学の「具体例同定」ができない一つの表れです。原因として、比例を「 x の値が2倍、3倍、…になると y の値も2倍、3倍、…になる関係」とではなく、「 x の値が増えれば y の値も増える関係」と誤認していることが挙げられます。問題解決に必要な知識（定義等）を正しく理解し、それを正しく用いて考えることに課題があります。

このような課題を克服するために、「比例や反比例かどうか判断する問題を二人で作り他のペアと問題を交換して解き合う活動」を行うのはいかがでしょうか。実際、小学6年生（31人学級）で、与えられた問題で比例や反比例かどうか判断する活動の後に、それを行ったことがあります。実施直後、アンケートの肯定的評価は大変高く、2か月後、新潟県Web配信問題の似たような問題で、比例の判断の正答率が81.4%、反比例の判断の正答率が71.2%と、いずれも過去2年間の当該校の学年平均正答率を上回りました。

児童生徒の「具体例同定」の読む力を高める上で、定義に合う具体例を児童生徒が複数作ることが有効とされています。先に紹介した問題づくりは、その一例です。このような活動は、例えば、学んだ言葉を使って文を作る、学んだ定義に合う図形を作る、定義に合わない例の理由を示すなど、他の様々な学習で行うことができます。（文責 井口 浩）

読解力低下にSNS影響？

「内外教育（教育の情報誌）9月20日号」に、読解力についての記事が載っていましたので紹介します。以下は記事を一部抜粋したものです。

文部科学省は、7月29日、今年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表した。中学校国語の平均正答率は58.4%で、前年度の70.1%から下がり、過去最低となったのが特徴。出題形式別では、記述式の成績が悪く、文科省は「目的に応じた表現力が課題」と分析している。

8月の新聞各紙は、全国学力テストで浮かんだ課題について論じた。

【読売新聞 社説】「全国学力テスト 読み書き苦手は放置できない」

SNS普及の影響だろう。短文でのやり取りが広がり、長い文章を読んだり、書いたりする機会が減っている。子供たちが活字に向き合う環境を整える必要がある。まずは読書や作文の指導を通じて、読解力や文章力の向上を急がなければならない。

今回テストを受けた中3は、小学校高学年から専用の端末を親しんできた世代にあたる。この影響も小さくないのではないか。

【読売新聞 記事】「長文・記述式 苦手」

東京都内の中学校で国語を教える教員は、「授業で長文を読ませても、すぐ諦めてしまう」とコメント。甲信越地方の中学校の国語担当教員も「文章を読み解く忍耐力のようなものが年々下がっている」と語る。この教員は、「SNSなど短く刺激的なコンテンツに慣れ、文章を味わったり、読み解いたりする醍醐味を知らない子供が多いのでは」と懸念を示した。

【産経新聞 社説】「学テの読解不振 活字に親しませる教育を」

読解力は、教科の枠を超えた全ての学力の土台だ。子供たちが将来、実社会で生きていく上でも大切な力である。文部科学省は今夏の結果を踏まえ、読解力を向上させる施策を強化すべきだ。教育現場でも活字に親しませる指導に一層努めてもらいたい。

スマートフォンなどの普及で子供たちが短文や絵文字に慣れる一方、活字の長文に親しむ機会が少なくなっていることが考えられる。

SNSの普及は、今後一層加速していくことと思います。SNSを規制することは難しい状況です。

私たち教師がやるべきことは、教育活動で読解力を育成するように努めていくことではないでしょうか。そして、読書の（活字を読む）楽しさを味わわせ、家庭に戻っても、さらには生涯に渡って自ら活字に触れようとする意識を芽生えさせることではないかと思えます。

そのために大事なことは何といたっても授業です。指導すべきことを明確にして、「読む力」育成の視点で授業改善に取り組むとともに、子供たちに「読むって楽しい！」と思う経験をたくさん積み重ねることが重要だと考えます。

子供たちの明るい未来のために、「読む力」育成に向けた授業改善に、力を合わせて取り組んでいきましょう。（文責：荒井 一人）

南魚沼市学力向上にむけて 真剣な議論

10月1日（火）ふれ愛支援センターにおいて、令和6年度学力向上に係る情報交換会を実施しました。概要を紹介します。

まず、教育長より、『学力喪失』（岩波新書 今井むつみ著）という本について紹介がありました。「各校が抱えている様々な問題点、この本の中には改善へのヒントが隠されているかもしれない。ぜひ多くの先生方に読んでほしい。」というお話がありました。



続いて、塩沢小学校、おおまき小学校、塩沢中学校の3校の校長先生から、学力向上の取組について実践発表を行っていただきました。「職員間で思いを語り合い、主体性をもった校内研修になるように励んでいること」「RSTの結果と日々の授業を関連させて分析し、具体的な改善策を考えて授業に臨んでいること」「学力実態を職員で共通理解し、学校全体としての取組を決めるとともに、各学年や各教科等で目指す姿や取組を話し合ったこと」など、大変参考になる3校それぞれの取組を聞くことができました。3校とも地道な取組をされていることに、敬意を表します。



その後、グループ協議に入りました。前半は、①読む力 ②ICT活用 ③家庭学習 ④その他 の4つのグループに分かれ、事前レポートを基に報告し合いました。全てのグループが休憩時間まで熱心に協議されていました（時間を十分に確保することができずに申し訳ございませんでした）。各校が自校に合った方法で取組を進めていることを聞き、大いに参考になったとの声が聞かれました。後半は、前半の4つのグループからお一人ずつ選出し、4人1組のグループで協議しました。前半にそれぞれのグループで協議したことが共有されました。

会の後半には、3名の教育委員の皆様からコメントをいただきました。「学力も大切だが、それと同じくらい人づくりも大切。教職員で力を合わせて、人づくりにも力を入れてほしい。」という貴重なご意見をいただきました。

閉会の挨拶では、六日町中学校長 小宮山 仁 様 から、全員で同じ方向を向き、各学校が主体的に児童生徒の教育に取り組んでいくことが確認されました。

今回の情報交換会をきっかけに、学力向上に向けた取組をさらに充実させていっていただきたいと思います。（文責 荒井 一人）



11月 INFORMATION



★研修講座★ 11月実施の研修講座です。

期 日	コード	研 修 講 座	会 場	開始時刻
11月6日(水)	R11	《理科》小3単元「明かりをつけよう」	北辰小学校	15:00
11月13日(水)	R17	《理科》中3単元「地球と宇宙」	北辰小学校	15:00
11月14日(木)	G04	《小中学校共通講座》 特別な支援を要する児童生徒の理解と対応 ～全ての子どもたちが、「分かった!」 「できた!」を実感するために～	市民会館 研修室・会議室	15:00
11月22日(金)	K03	《国語》授業公開講座Ⅲ〈小学校3年〉 郡市小教研指定研究	城内小学校	13:20
11月28日(木)	Y02	《読む力育成に向けた授業づくり》 国語における「読む力」の育成	六日町小学校	13:40

★学校訪問★ 11月の計画訪問・要請訪問の予定です。

期 日	学校名 (教科等)	期 日	学校名 (教科等)
11月1日(水)	城内小(国)	11月18日(月)	おおまき小(外)
11月7日(木)	中之島小(算・外)	11月19日(火)	藪神小(国)、六日町小(算)
11月8日(金)	石打小(国・算)	11月20日(水)	後山小(算)、
11月13日(水)	湯沢小(算)	11月22日(金)	城内小(国)
11月14日(木)	大崎小(算)	11月26日(火)	赤石小(算)
11月15日(金)	栃窪小(国)、五十沢小(算)、 北辰小(外)	11月28日(木)	六日町小(国)
		11月29日(金)	塩沢小(国・算)

